

## ☆ キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント

平成 31 年 2 月 15 日号

=vol.18=

～ごあいさつ～

こんにちは。ホワイトボックス コンサルティング部の阿部勇司です。立春に入ったと思ったら関東地方では寒い日が続き、先週末は東京にもうっすらと積雪がありました。病院勤務時代、今は近代的な建物に変わったその病院も、当時は建物が古く、また町はずれの山の上にあったために交通量が少ないこともあり、街中とは違う景色が広がったものでした。台風や積雪の予報が出ると、緊急時に備え院内に泊りがけで待機したことを思い出します。昨年は災害が続きましたが、穏やかであることを願わずにはられません。

さて、今回の《☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント》は、次の内容でお届けします。

### 【目次 (Contents)】

- ◆今号の注目 Topic : 「指導・監査対策の考察 Stage3(5)\_後編」
- ◆WB's Opinion : 「医師がやる気になる環境づくり」
- ◆お知らせ
- ◆編集後記

\*本メールは、ホワイトボックス（株）コンサルティング部スタッフと名刺交換をさせて頂いた皆さま及び弊社がサイト運営している、ドクターレジャーボックスの Web サイトに無料会員登録された皆さまへお送りしています。配信停止を希望される方は、お手数ですが本メール文末にある購読解除手続きへお進みください。

### 【今号の注目 Topic】

#### ▽指導・監査対策の考察 Stage3(5)\_後編

個別指導や適時調査の最近の傾向からはじまり、指摘事例に入り込んでしまったがために思いがけず長期ステージになった本シリーズも、各論としては最終回を迎えました。看護の人員部分は特に、不足していると入院基本料の返還に直結するため、よくよく注意したいところですね。

[https://goo.gl/Dpx\\_Asp](https://goo.gl/Dpx_Asp)

### 【WB's Opinion 「医師がやる気になる環境づくり」】

医師がやる気になれない理由を、以前多くの医師にお聞きしたことがあります。その結果

は次のようなものでした。

- (1) 訴訟
- (2) 魅力のないリーダーの行動
- (3) いやな上司
- (4) 質の低いスタッフ
- (5) 理不尽なクレーム
- (6) 働いても変わらない報酬
- (7) 疲労
- (8) ダメな部下
- (9) 欲しい医療機器を購入してもらえない
- (10) 低い文化度

上記から、医師が働きやすい環境が透けて見えてきます。病院にしっかりとしたヴィジョンを語るトップマネジメントのリーダー（理事長、院長）が存在し、彼が常に明るく夢を語り、自院の地域における役割を伝えるとともに、戦略を明確にして具体的に実行できる組織体制を病院につくりあげることが必要です。

このような病院は、毎年の経営方針が明確であり、またスタッフの役割も明確で、常に業務改革を軸とした前向きな活動をしています。事務部長、看護部長や診療技術部長、薬剤部部長は協力的で常に医師を尊敬し、よくコミュニケーションをとり、問題があればすぐ合議のもとで解決していくといった体制が作り上げられています。

こうした病院は、医師がルールから逸脱すれば、直ちにトップと医師との会話があり、そうせざるを得なかった理由を明確にし、その排除のための工夫がされていく、というサイクルのなかで、ガバナンスがしっかりと機能する環境ができてきます。

正しく行動することが心地よい。そんな文化や風土が生まれることで、皆が緊張しながらも、自信をもって行動することができるようになるには、どうすれば良いのか。

答えは一つではありませんが、例えば評価制度を整備することも一案です。評価制度が明確であれば、働いた者に対して、成果主義というよりもそれが公平公正性を担保するために、金銭だけではない報奨が支払われ、頑張れば評価される、報われるという仕組みができあがっていきます。

職員が互いを尊敬しあい、また指摘しあいながら良い方向に進んでいく病院。これは理想ではありません。トップマネジメントのリーダーシップいかんで、このような病院が存在しえるという事実があります。不足するところをどのように整備していくのかが、私たちに問われているのではないのでしょうか。

## 【お知らせ】

### ▽書籍のご紹介「サクセスキューブ このフレームワークであなたも必ず成功できる」

<http://www.whitebox.co.jp/success-cube/>

= 成功を「誰にでも再現できるものに」 =

弊社代表 石井友二の最新刊が幻冬舎から発刊されました。本書では、成功の要件に欠かせない6つの要件、「思い」×「信念」×「技術」×「人間力」×「コミュニケーション」×「達成感」を、私たちの身近にあるサイコロ（キューブ）の6つの面を使って表現することで、誰にでも理解しやすいフレームワーク「サクセスキューブ」として示しています。

一流のビジネスパーソンが無意識に実践している思考法を、“キューブ”を使って理論化した最新刊は、以下のURLから電子書籍でもお求めできます。

<https://www.gentosha.co.jp/book/b11933.html>

## 【編集後記】

「団塊の世代」という言葉は、先日亡くなった作家で、元経済企画庁長官の堺屋太一氏が作ったワードだったことを、堺屋氏死去に関するニュースではじめて知りました。日本万国博覧会の頃ということですから、今から約50年も前のことになります。しかし、当時問題視されたのは人口増。人口過剰に備え、可住地を拡げる政策が取られ、公共事業がドンドン行われたのだとか。当時は、技術力をモノづくり輸出増などの経済成長も追い風となって日本の経済成長を助けた背景があったのですが、バブルもはじけ、それも今は昔の話し。

医療や介護ニーズがある一方で、地域のマーケットを適切に見極め動かなければ、顧客のニーズに応えているとはいえず、衰退していく可能性も否定できません。時代が変化する境目にいる私たちは、変化を恐れずこれを受け入れていく道を探索する必要があるのかもしれない。

### ▽ご意見・お問い合わせ

本メールマガジンは自動配信システムを利用して送信しております。そのため送信元のメールアドレスに返信しても届かない場合がございますので、ご意見・お問い合わせ等につきましては、お手数ですが以下のメールアドレスまでご連絡ください。

✉ [support@whitebox.co.jp](mailto:support@whitebox.co.jp)

### ▽登録解除フォーム

メールマガジン購読解除を希望される方は、下記のフォームから手続きをお願いします

<https://goo.gl/QWL7dE>

▽ホワイトボックス(株)メールマガジン「☆キラリと光る☆ 病院マネジメントのヒント」  
は毎月15日と月末に発行予定です(該当日が週末の場合は、週明けに発行します)。

発行：ホワイトボックス株式会社 コンサルティング部

HP <http://www.whitebox.co.jp>

〒104-0061 東京都中央区銀座1-20-11 銀座120ビル7階

☎：03-6278-8741

\*掲載記事の無断掲載を禁じます

Copyright ©ホワイトボックス株式会社 All Rights Reserved.